

2022年5月20日

各位

会社名 ジャパンワランティサポート株式会社
代表者名 代表取締役社長 庄司 武史
(コード番号：7386 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長 藤原 祐次
(TEL 052-212-9942)

2022年9月期の業績予想について

2022年9月期(2021年10月1日から2022年9月30日)における当社の業績予想は、次のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	2022年9月期 (予想)		2022年9月期 第2四半期累計期間 (実績)		2021年9月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率		
売上高		1,443	100.0	699	100.0	1,251	100.0
営業利益		512	35.5	270	38.7	485	38.8
経常利益		505	35.0	272	38.9	493	39.5
当期(四半期)純利益		327	22.7	178	25.5	321	25.7
1株当たり当期 (四半期)純利益		161円75銭		89円15円		160円05銭	
1株当たり配当金		—		—		—	

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
2. 2022年2月15日付で、普通株式1株につき200株の株式分割を行っておりますが、2021年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。
3. 2021年9月期(実績)及び2022年9月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
4. 2022年9月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数(97,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大96,000株)を考慮しておりません。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【2022年9月期業績予想の前提条件】

1. 当社の見通し

当社が中心にかかわる国内の住宅市場では、コロナ禍での生活様式の変化を背景に、住宅取得需要は底堅い状況が続きました。また新設住宅着工は持ち直しの動きが継続し、子育て世代の住宅取得支援制度の創設や環境性能等に応じた住宅ローン減税制度の導入等、住宅取得やリフォーム工事への政策面での追い風もありました。

このような事業環境の中、当社は主力商品である「あんしん修理サポート」に加え、カギ・水まわり・ガラスの緊急駆け付けサービスである「あんしん住宅サポート 24h」、中古住宅設備の保証サービスである「リユース修理サポート」の営業拡大を行い、新品住宅設備保証にとどまらない、更なる事業展開を行っております。

結果として当第2四半期累計期間の業績は、売上高は699,601千円、営業利益は270,837千円、経常利益は272,406千円、四半期純利益は178,308千円となりました。

このような状況のもと2022年9月期は、売上高1,443百万円(前期比15.3%増)、営業利益512百万円(前期比5.5%増)、経常利益505百万円(前期比2.3%増)、当期純利益327百万円(前期比1.8%増)と増収増益を見込んでおります。

2. 業績予想の前提条件

当社は「住宅設備機器の延長保証事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。なお、2022年9月期の業績予想数値につきましては2021年9月に取締役会において決議された予算数値となっております。

(1) 売上高

当社の延長保証事業に関する売上高は、サービス加入時にハウスメーカーや量販店、ホームセンター等の住宅設備供給事業者(以下「事業者」)から一括で收受した業務受託料から事務手数料を差し引いた残高を前受収益に計上し、最長10年間の保証期間にわたって配分しております。なお、業務受託料は保証期間を通じて提供する役務に対し受領する対価のため、保証期間にわたって按分計上する一方、事務手数料は会員登録、会員証発行等サービス加入初月にのみ発生する事務工数に対する手数料売上のため、期間按分ではなく一括計上しております。また、過去に前受収益に計上された業務受託料はストック売上として金額が確定しており、年間売上高のうち約7割(2021年9月期実績)を占めております。

売上高の予想の算出にあたっては、過去加入会員に対応するストック売上の金額をベースに、新規加入会員に対応する売上高を加算しております。これに基づき、売上高の予想を算出するうえで勘案した前提条件は以下のとおりとなっております。

①過去加入会員に対応するストック売上の配分額

ストック売上の配分額について、2021年9月期期末の前受収益残高を基に2022年9月期に配分される金額を算出しており、2022年9月期の配分額として1,031百万円が売上高に計上されると見込んでおります。

2022年9月期第2四半期累計期間の過去加入会員に対応するストック売上高は565百万円となっております。

②新規加入会員に対応する売上高

「あんしん修理サポート」及び「リユース修理サポート」は、事業者から收受する業務受託料の見積総額を事務手数料と前受収益の配分額に区分し売上高の予想を算出しております。

業務受託料は、2020年9月期から2021年9月期の当社の新規加入会員に対する業務受託料の成長率実績を基に各事業者の販売計画及び新規提携企業の増加を勘案し、総額を算出しております。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

事務手数料は、1件当たり900円で単価設定しており、当該単価に新規会員の想定登録件数を乗じて算出しております。なお、新規会員の想定登録件数は、過去の成長率をもとに計画した業務受託料の見積総額を、1件当たりの業務受託料平均単価で除することにより算出しております。1件当たりの業務受託料平均単価は10,000円前後です。

前受収益の配分額は、業務受託料の見積総額から事務手数料を差し引いた残額を保証月数にわたって配分し算出しております。

「あんしん住宅サポート24h」は、2021年9月期における1件当たりの平均単価と想定件数を乗じて算出しております。

なお、2022年9月期の新規加入会員に対する売上高の予想については、2021年12月までの実績金額に上記計算に伴い算出した残期間に相当する金額を加算しております。

2022年9月期第2四半期累計期間の新規加入会員に対応する売上高は134百万円となっております。

「あんしん修理サポート」は既存事業者からの新規会員の獲得が安定していることに加え新規提携企業の増加を見込んでおります。また、「あんしん住宅サポート24h」及び「リユース修理サポート」といった新商品の拡大を見込み2022年9月期末の有効会員数は1,344千件（前期末比118.7%）を見込んでおります。

以上の結果、2022年9月期の売上高の予想について、第2四半期累計期間の実績に第3四半期会計期間以降の見込みを加えた1,443百万円(前期比15.3%増)を見込んでおります。

(2) 売上原価、売上総利益

売上原価は、①修理費用、②支払保険料、③保険金収入の3つの要素から構成されており、売上原価の予想の算出は各要素別に算出しております。

①修理費用

修理費用は、会員からの修理依頼に対して当社がメーカーに修理依頼を行った際に発生する外注費となります。当該修理費用の予想は、修理件数に修理単価を乗じて算出しております。修理件数は有効会員数(※1)に故障率(※2)を乗じて経過年数毎に算出しており、修理単価は過去実績に基づき1件当たりの平均修理単価を経過年数毎に算出しております。

(※1)有効会員数：過去に当社延長保証サービスに登録された会員から保証期間が終了した会員を差し引いた会員数

(※2)故障率：当社コールセンターで受けた修理依頼のうち修理対応を実施した件数÷有効会員数

なお、2022年9月期の修理費用の予想については、2021年12月までの実績金額に上記計算に伴い算出した残期間に相当する金額を加算し、447百万円を見込んでいます。

2022年9月期第2四半期累計期間の修理費用は209百万円となっております。

②支払保険料

支払保険料は、修理費用の上昇に備え修理外注費の負担に対するリスクヘッジとして損害保険会社に支払っております。当該支払保険料の予想は、保険が付帯されている付保会員数に保険料単価を乗じて算出しております。付保会員数は有効会員数に付保割合(※3)を乗じて算出しており、保険料単価は直近の保険料平均単価を用いております。

(※3)付保割合：保険が付帯されている付保会員数÷有効会員数

なお、2022年9月期の新規加入会員に対する支払保険料の予想については、2021年12月までの実績金額に上記計算に伴い算出した残期間に相当する金額を加算し、147百万円を見込んでいます。

2022年9月期第2四半期累計期間の支払保険料は64百万円となっております。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

③保険料収入

保険料収入は、付保会員に修理が発生した場合に損害保険会社から受け取る保険料であり売上原価の控除項目となっております。当該保険料収入の予想は、付保会員の修理件数に保険返戻単価(※4)を乗じて算出しております。

(※4)保険返戻単価：修理単価×当社と損害保険会社との取り決めに基づく返戻率

なお、2022年9月期の新規加入会員に対する保険料収入の予想については、2021年12月までの実績金額に上記計算に伴い算出した残期間に相当する金額を加算し、57百万円を見込んでいます。

2022年9月期第2四半期累計期間の保険料収入は45百万円となっております。

当社は、修理費用の支出に備え、案件の一部に保険を付すことにより保証期間におけるコスト負担の平準化を図っておりますが、付保の効果と保険料負担のバランスを考慮し、対象案件全件に対しては付保を行っておらず、2021年9月期末時点の付保率は45.4%であります。また、修理件数は、保証開始後おおよそ7年目以降の会員がピークとなる傾向があることから、2022年9月期以降において保証開始後おおよそ7年目以降の会員数の増加が継続する見込みであり、売上原価全体としてコスト負担が増加することを見込んでおります。

なお、修理費用は過去の実績に基づき経過年数別に算出していますが、過去の実績をそのまま将来の予測に使用できるほどの実数に達していないこと、及び今後の部品代の高騰等のリスクを鑑み、故障率及び修理費用総額において保守的に計画しています。

以上の結果、2022年9月期の見通しについて、第2四半期累計期間の実績に第3四半期会計期間以降の見込みを加え、売上原価537百万(前期比40.6%増)、売上総利益906百万円(前期比4.2%増)を見込んでおります。

(3) 販売費および一般管理費、営業利益

販売費および一般管理費について、主に人件費51百万円(前期比19.0%増)から構成されています。人件費については、DX推進、新規事業開発、営業拡大、管理体制のさらなる確立のために人材の採用を進めることで、企業運営、ガバナンスの強化を図っており、人員計画に基づく人員数の増加(9名増)のもと、一定のコスト上昇を見込んでおります。その他の費用については、2021年9月期の実績を基準として、個別に発生する費用を勘定科目ごとに集計し算出しております。

なお、2022年9月期の販管費及び一般管理費の予想については、2021年12月までの実績金額に上記計算に伴い算出した残期間に相当する金額を加算しております。

2022年9月期第2四半期累計期間の販管費および一般管理費は199百万円、営業利益は270百万円となっております。

以上の結果、2022年9月期の販売費及び一般管理費は394百万円(前期比2.6%増)、営業利益は512百万円(前期比5.5%増)を見込んでおります。

(4) 営業外収益・費用、経常利益

営業外収益・費用は、2021年9月期の実績を基準として、個別に発生する費用を勘定科目ごとに集計し算出しております。営業外収益について、受取配当金4百万円(前期比1.0%減)を見込んでいます。また、営業外費用については、有価証券に関わる支払手数料2百万円(前期比41.4%減)の他、新規株式上場に伴う諸費用等13百万円(前期比は販売費及び一般管理費に含めております)を見込んでいます。

なお、2022年9月期の営業外収益・費用の予想については、2021年12月までの実績金額に上記計算に伴い算出した残期間に相当する金額を加算しております。

2022年9月期第2四半期累計期間の経常利益は272百万円となっております。

以上の結果、2022年9月期の経常利益は505百万円(前期比2.3%増)を見込んでおります。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

(5) 特別利益・損失、当期純利益

特別利益、特別損失について、2022年9月において発生は見込んでおりません。また、法人税額等について、利益計画に基づき課税所得を見積もり、その課税所得に見積実効税率を乗じることにより法人税額を算出し、税効果会計の影響を加味して法人税等合計額177百万円を算出しております。

2022年9月期第2四半期累計期間の四半期純利益は178百万円となっております。

以上の結果、2022年9月期の当期純利益は327百万円(前期比1.8%増)を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。